

## 観光立市推進に向けた取り組み 及び方向性について



令和 2 年 (2020 年) 11 月 11 日

文化スポーツ観光部観光課

# 1 地方自治体の目的と観光立市

## (1) 地方自治体の目的

- ・地方自治体の目的は、住民福祉を増進することにある。
- ・住民福祉を増進するためには財源が必要で、主な財源である市税収入を増やすには、産業の振興・育成により、雇用を増やし、市民や市内企業の収入を増加させていくことが重要になる。

## (2) 市内産業構造の変化

- ・戦後の市内産業は、自動車や造船などの製造業を中心に発展してきたが、その後新たな産業の柱に情報通信関連産業を位置付け、市内産業構造の転換を図ってきた。
- ・これらの産業は、グローバルな影響を受けやすく、近年は、製造の自動化やA I など新たな情報通信技術の進展に伴い、直接雇用に結び付きにくい産業になりつつある。

## (3) 観光を主要産業へ（なぜ観光なのか）

- ・人口減少と目まぐるしく動く世界経済、産業構造の中で、さまざまな状況の変化に対応するためには、市内産業構造の多様化を図っていくことが重要である。
- ・また、少子高齢化と人口減少が続く日本で、今後定住人口の増加を図っていくことは困難であり、外から人を呼び寄せる産業が必要となる。  
このような状況において、新たな基幹産業となる観光業を成長させ、主要産業に押し上げていくことが重要と考えている。

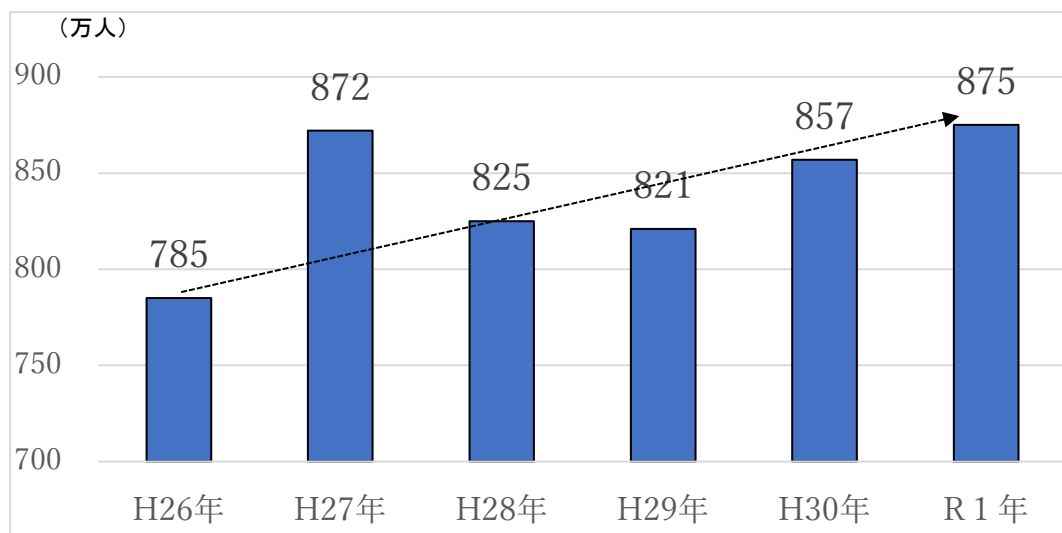
## 2 観光立市推進に向けた現状と課題

### (1) 横須賀のポテンシャル

- ・ペリー来航の地や軍港都市として全国的な知名度も高く、近代歴史の源として史跡なども現存し、多くの史跡が日本遺産に認定されている。

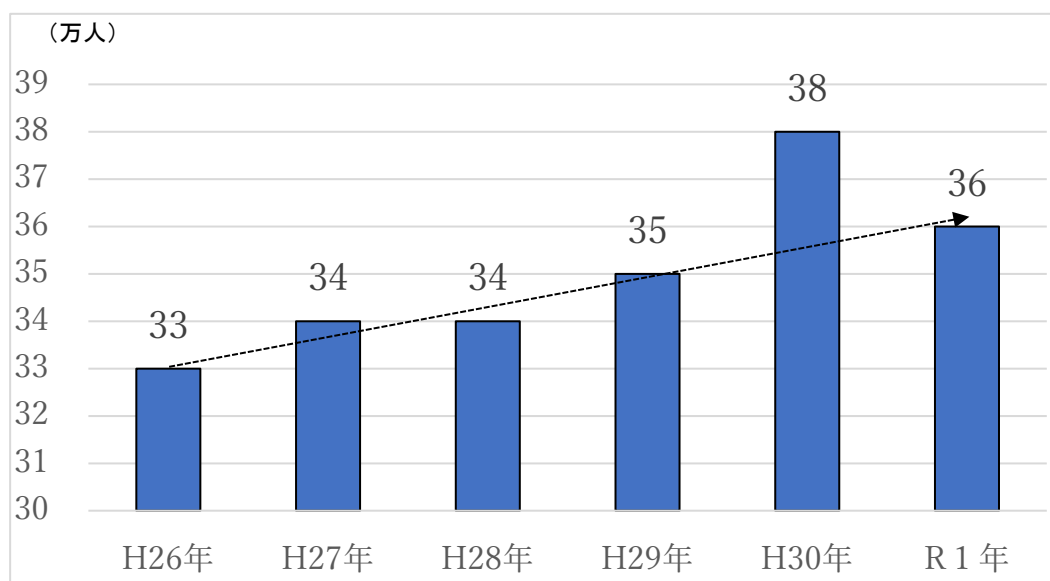
⇒ 観光客数、宿泊客数は、ここ数年増加傾向にある。

(延べ観光客数の推移)



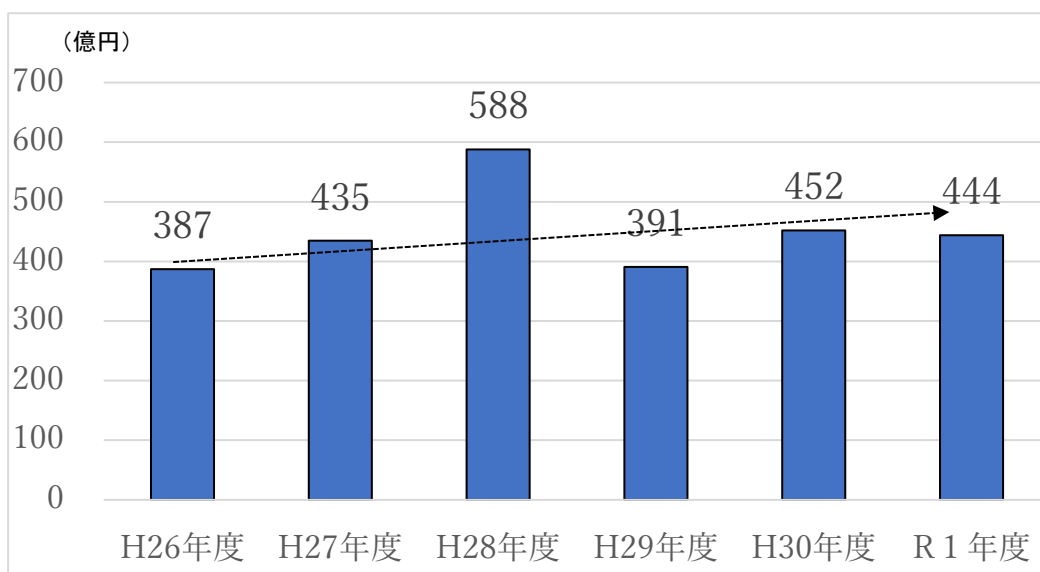
実績値 (R 1 年)	875 万人
観光立市推進アクションプラン (R 3 年)	950 万人
観光立市推進基本計画 (R 7 年)	1,000 万人

(宿泊客数の推移)



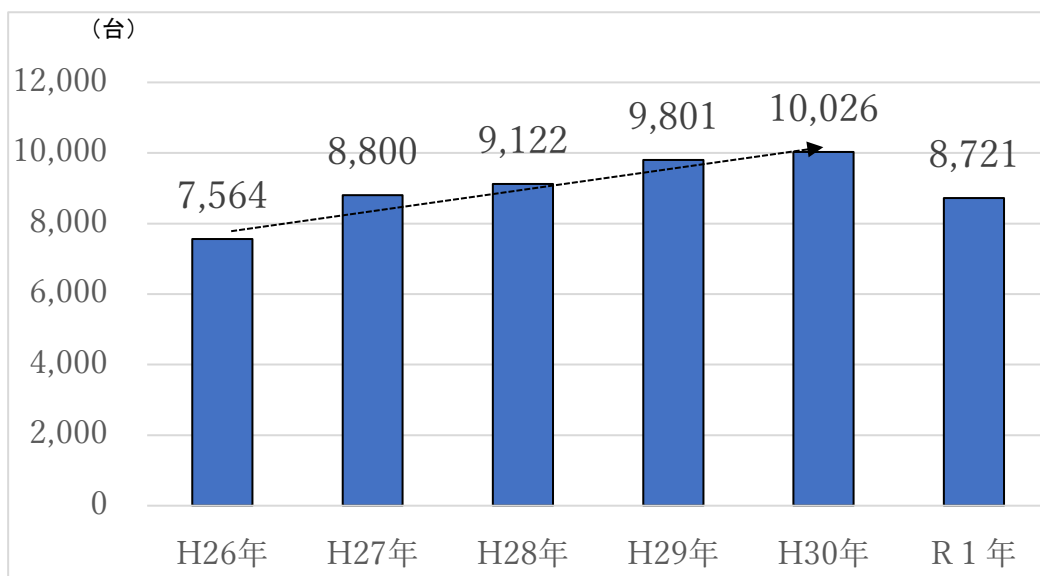
実績値 (R 1 年)	36 万人
観光立市推進アクションプラン (R 3 年)	44 万人
観光立市推進基本計画 (R 7 年)	50 万人

(消費額の推移)



実績値 (R 1 年度)	444 億円
観光立市推進アクションプラン (R 3 年度)	595 億円
観光立市推進基本計画 (R 7 年度)	636 億円

(観光バス駐車台数の推移)



実績値 (R 1 年)	8,721 台
観光立市推進アクションプラン (R 3 年)	13,000 台

## (2) 観光立市推進に向けた課題

### ① 観光客の男女比

- ・軍港やカレー、近代歴史のイメージが強いせいか、横須賀市を訪れる観光客の男女比は7：3となっている。全国的な観光地は3：7～5：5であり、観光地と比較すると圧倒的に男性の割合が高い。

⇒今後、さらに観光客を増加させていくためには、近代歴史に興味を持った人のみをターゲットにした観光振興ではなく、女性、ファミリー層、外国人も含めたさまざまな方々へのアプローチが必要である。

表1 主な観光地来訪者の男女比

	男性	女性
<b>横須賀市</b>	<b>71.3%</b>	<b>28.7%</b>
京都市	32.6%	67.4%
金沢市	44.9%	55.1%
長野県	58.3%	41.7%
北海道	48.1%	51.9%
小樽市	44.4%	55.6%
柳川市	53.4%	46.6%
箱根・湯河原地区	50.9%	49.1%
川越市	39.4%	60.6%

### ② 1人あたり観光消費額が低い

- ・日帰り客の割合が圧倒的に高く、単価の高いお土産や飲食が少ない。

⇒ 新たな商品やサービスの開発

宿泊施設の増加

周遊促進のための市内交通アクセス、利便性の向上

表2 宿泊・日帰り観光客の平均消費単価

	宿泊客	日帰り客
<b>横須賀市※1</b>	<b>15,011 円</b>	<b>4,646 円</b>
鎌倉市	41,919 円	5,799 円
横浜市	24,409 円	5,660 円
箱根・湯河原地区	29,644 円	5,857 円

※1 三浦半島  
(鎌倉地区以外の平均消費単価)

表3 宿泊・日帰り観光客の割合

	宿泊客	日帰り客
<b>横須賀市</b>	<b>4.1%</b>	<b>95.9%</b>
鎌倉市	1.7%	98.3%
横浜市	12.7%	87.3%
箱根町	22.7%	77.3%

### 3 新たなアプローチの手法・新たなコンテンツの開発

#### (1) 考え方

- ・音楽・スポーツ・エンターテインメントを観光集客ツールとして、本市の新たな魅力を発信し、歴史だけではない新たな観光客層の獲得を目指す。

#### (2) なぜ音楽・スポーツ・エンターテインメントなのか

- ・男性、女性、ファミリー、外国人などの属性に関係なく、誰もが親しみを感じられるコンテンツである。
- ・心に訴え、誰にでも響くコンテンツである。
- ・音楽・スポーツ・エンターテインメント分野における本市の関連と強み

音楽	ジャズ、ロック発祥の地としてのルーツ
スポーツ	ベ이스ターズ、マリノス、ウインドサーフィン、アーバンスポーツなど新たな可能性の芽生え
エンターテインメント	アニメ、ゲーム、音楽配信会社とのこれまでのコラボ実績の積み上げ

#### (3) 音楽・スポーツ・エンターテインメントを活用した新たな取組の効果

平成30年度から、日本遺産などを舞台にした音楽・スポーツ・エンターテインメントに関するさまざまな取組を行った結果、以下のような変化が現れてきた。

##### ① 民間企業とのコラボレーション

- ・行政が主体となった集客などの仕掛けでなく、民間企業と連携し、民間企業の持つノウハウ、人材、資金を活用した取組により、明るくハイセンスなイメージを発信し、新たな客層を誘引する効果

ポケモンGO ワンピース センスアイランド	これまで横須賀に興味を持たなかった観光客の来訪 ⇒ 横須賀の良さをSNSで発信 ⇒ 猿島を訪れる女性客・外国人客の増加
-----------------------------	---

## ② 新しい横須賀の動きを前向きに捉えて、新たな市内外企業が投資・進出

- ・民間企業と連携した新たな動きや新たな魅力を発信していくことで、これらの取り組みに関心を持ち、横須賀で事業をしたい、投資をしたいという民間企業が現れてきた。

よこすかポート マーケット	いちご株式会社がリニューアルして、2022 年春 オープン予定
旧三笠駐車場用地 へのホテル誘致	市内 1 企業、市外 2 企業が公募に参加 2021 年 12 月に営業開始
猿島ビジター センター	市内企業が建設し、2020 年 7 月オープン
e スポーツ、 アーバンスポーツ	N T T 東日本ほか 4 社と連携
新たなフェリー 航路の就航	横須賀港と北九州港を結ぶ新規フェリー航路が 2021 年に就航予定

## ③ 文化庁とのコラボレーション（日本遺産の新たな見せ方の発見）

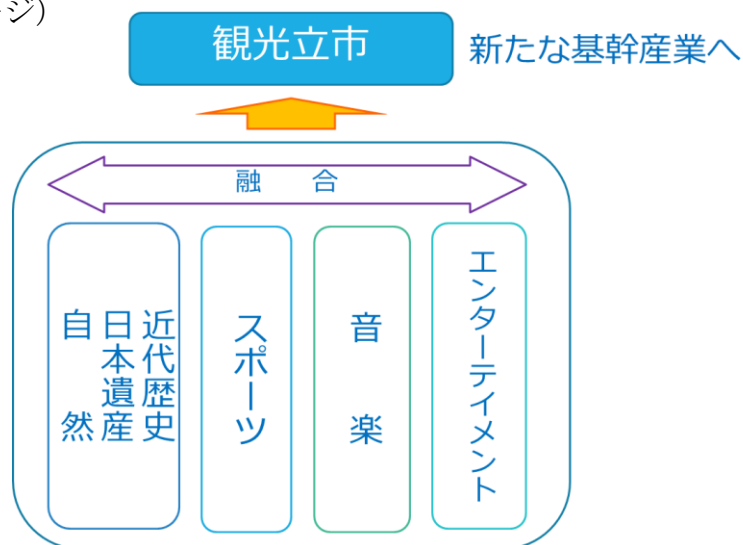
- ・日本遺産とアニメ、日本遺産とプロジェクションマッピングなど、日本遺産に興味のない人も、音楽・スポーツ・エンターテインメントなどとのコラボレーションにより、日本遺産に親しむことができる取組が、面白いアプローチとして文化庁に認められ、日本博と関連した補助金を交付

（例）猿島でアートイベント（センスアイランド）

猿島とワンピースのコラボイベントなど日本遺産とアニメのコラボ  
浦賀ドックでプロジェクションマッピング  
まちなかミュージック

## 4 新たな観光立市の方向性

(観光立市のイメージ)



- ・ 自然、日本遺産、近代歴史と、スポーツ・音楽・エンターテインメントとを融合させ、相乗効果により発信力を高め、他の地域との差別化を図り、これまで横須賀に目を向けることが少なかった女性、ファミリー層、外国人などの誘客
- ↓
- ・ 都市として「楽しそう」「面白そう」「ワクワクする」イメージの発信
- ↓
- ・ 新たな観光客の増加
- ↓
- ・ 再来訪の好循環
- ↓
- ・ 観光産業の成長・基幹産業化

## 5 目指すまちづくりの3つの方向性

(横須賀再興プラン：H30年度～R3年度)

### (1) 海洋都市

豊富な海産物、釣りやマリンスポーツに適した環境など、海に関連する地域資源を最大限に活用。

### (2) 音楽・スポーツ・エンターテインメント都市

誰もがスポーツに親しめる環境の創出や、音楽フェスティバルの開催、ストリートライブの場の創出。

### (3) 個性ある地域コミュニティのある都市

小学校の施設を活用した学校・地域住民が一体となった取り組みができる拠点づくり、谷戸地域の魅力を生かした横須賀らしい楽しいコミュニティの形成。



## 6 観光立市推進に向けた取り組みについて

### (1) スポーツを活用した取り組み

- プロスポーツチームとの連携
- トップアスリートと触れ合える環境の充実
- 「ウインドサーフィンのまち」としての仕掛けづくり

スポーツを新たな観光コンテンツとして位置づけ、市外からの集客を促進するとともに、市民が楽しめる、誇りや愛着を持てる環境を充実させる。

#### ① ウインドサーフィンワールドカップ

- ・世界最高峰の大会「ANA ウインドサーフィンワールドカップ横須賀・三浦大会」を平成 29 年から津久井浜海岸で開催。
- ・三浦海岸で行う大規模音楽イベントを同時に開催。
- ・この大会をきっかけに、新たなウインドサーフィンの大会、合宿などの誘致や「ウインドサーフィンのまち」としてのイメージ発信、定住促進に向けた取り組みを進める。



#### ②横浜DeNAベイスターズ

- ・横浜DeNAベイスターズの総合練習場「DOCK OF BAYSTARS YOKOSUKA」が令和元年8月に完成。
- ・ベイスターズ、京浜急行電鉄（株）との連携協定を活用した取り組みや追浜地域の商店街と連携し、追浜エリアの集客を促進。
- ・市全域にベイスターズファンを増やし、経済波及効果をより大きくする。

- ・駅や街中の装飾
- ・野球教室やチアスクールの開催
- ・「青星寮カレー」の学校給食へのメニュー化



### ③横浜F・マリノス

- ・ J R 久里浜駅付近に、横浜F・マリノスの練習場を誘致。
- ・ 練習場の完成（令和4年）を機に、久里浜地域をフットボールタウンとして活性化を図る。
- ・ 市全域にマリノスファンを増やし、経済波及効果をより大きくする。



【練習場イメージ】

### ④アーバンスポーツ（BMX、スケートボード）大会の誘致

- ・ アメリカ発祥で横須賀市のイメージにも合うBMXに注目し、「BMXフリースタイルジャパンカップ」の誘致を進める。
- ・ さらに、大会誘致を契機にうみかぜ公園を中心としたエリアで、スケートボード、ダンスやeスポーツなどを生かして、横須賀のスポーツの新たな魅力を発信し、多くの若者が集まるまちづくりに取り組む。

### ⑤eスポーツの推進

- ・ eスポーツ関連のイベントの開催、市内高校への導入などを進め、eスポーツの裾野を拡大するとともに、全日本、国際大会の誘致を目指す。

### ⑥マリンスポーツの推進

- ・ ウインドサーフィンをはじめ、SUPやシーカヤックなど、本市の持つ魅力の一つである自然環境を活かし「他の地域では出来ない体験ができる横須賀」を目指す。
- ・ 令和2年9月21日（月）、民間事業者と連携し、東京湾では初めてのカヤックフィッシング大会を実施した。

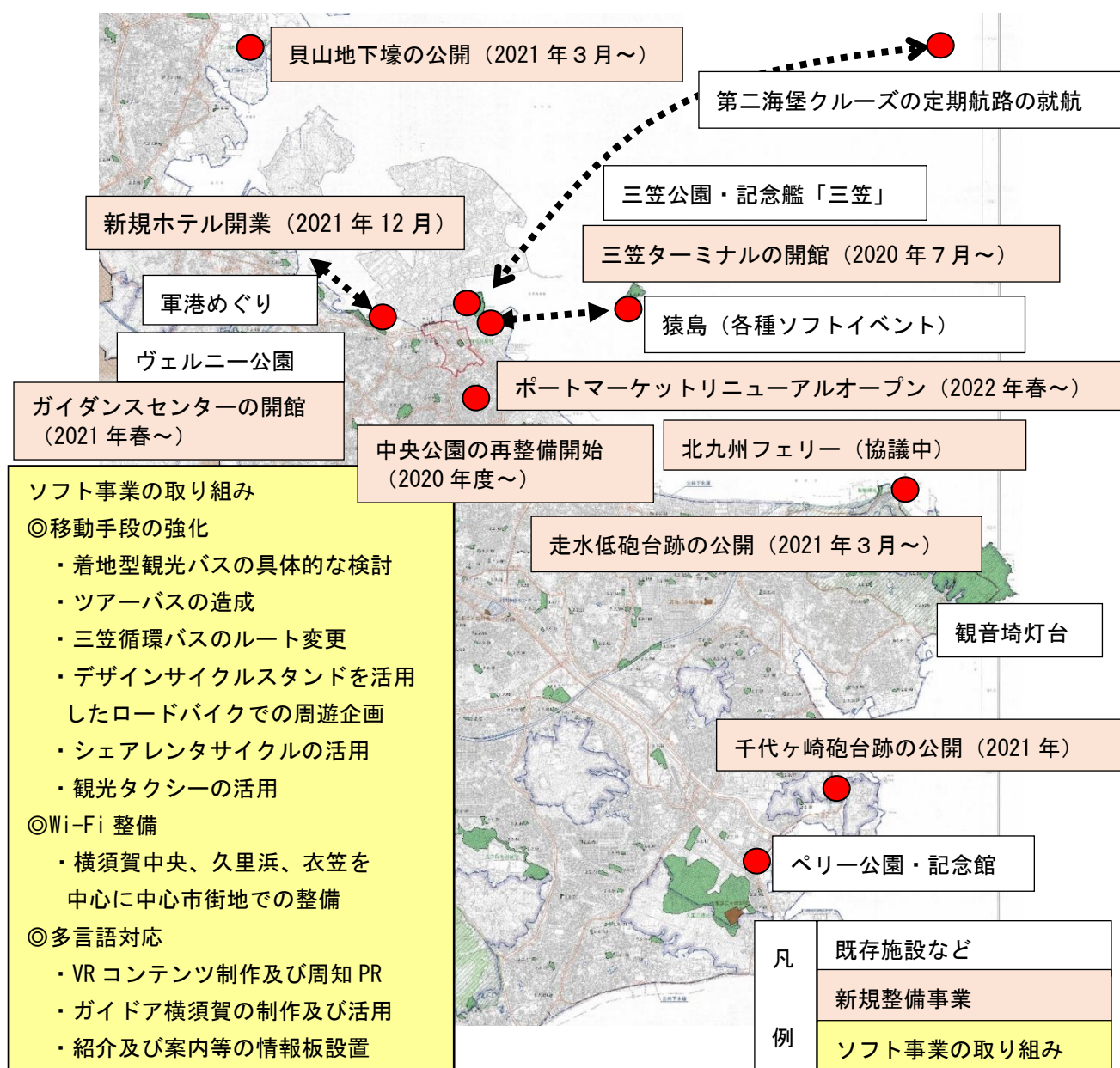
## (2) 歴史的遺産を活用した取り組み

○内閣府、国土交通省、文部科学省などの国と連携し、横須賀に眠る開国期からの歴史遺産を整備。

点在する近代化遺産などを活かした新たな観光拠点やストーリー性を持った周遊ルートを創出し、観光客の増加、滞在時間の延長、消費額の拡大を図る。

### ①ルートミュージアム構想

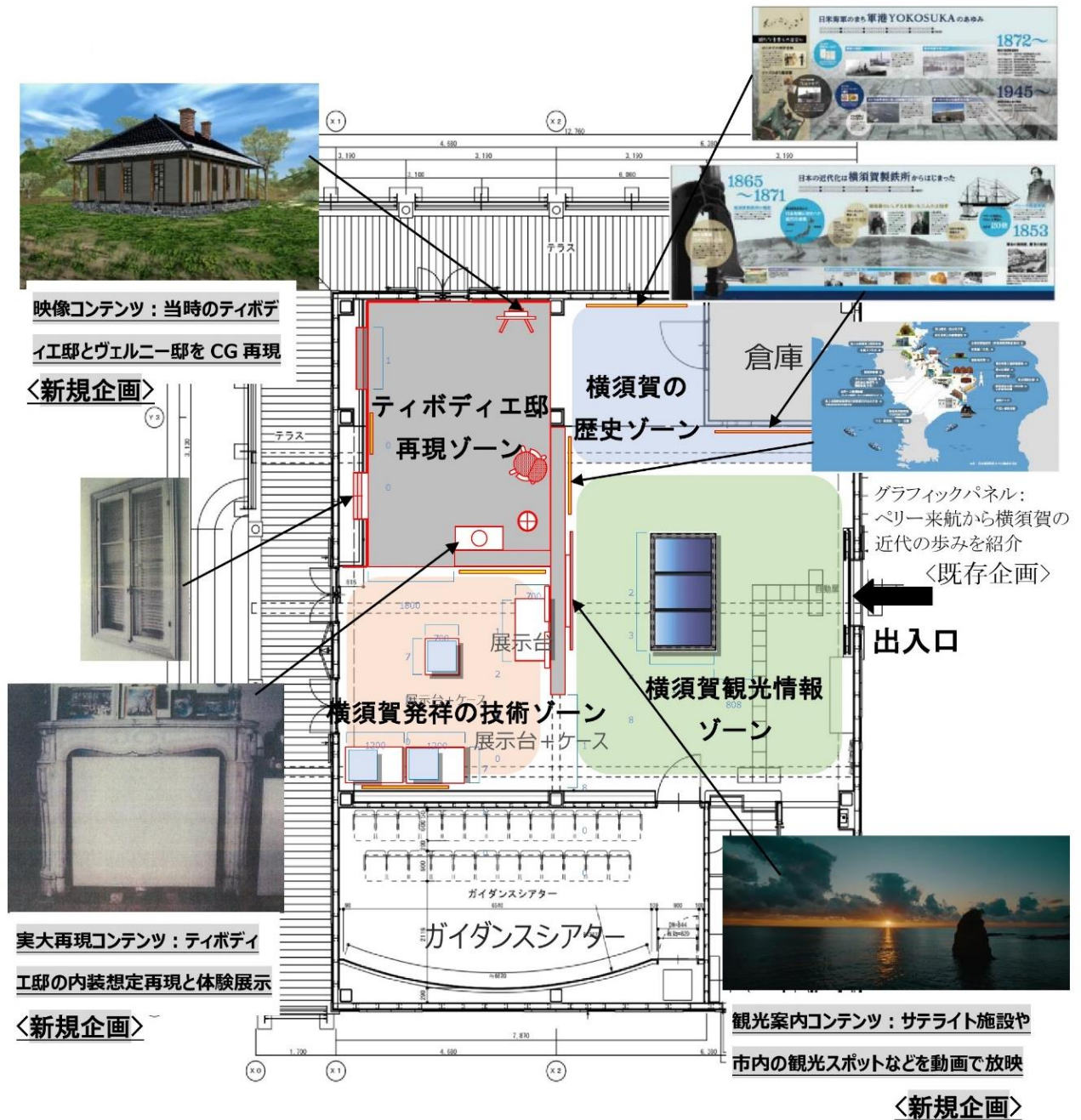
- ・市内に点在する近代化遺産などの整備を進め、市内全体を軍港資料館として捉えた「ルートミュージアム」を構築。
- ・日本近代化の礎となった横須賀の歴史を伝える中核拠点として、ヴェルニー公園内に、当時の建物の部材を活用した、ガイダンスセンターを整備。



さらに浦賀～久里浜地域の史跡などの整備を順次進め「開国の地」としての地位を確立する。



・ガイドンスセンター平面図（案）



・外観パース絵



## ②日本遺産構成文化財

- ・平成 28 年に「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」が日本遺産に認定。
- ・旧軍港四市（横須賀・呉・佐世保・舞鶴）で連携を図り、日本遺産構成文化財を活用した取り組みを推進。



## ③三笠ターミナルの開設

- ・京浜急行電鉄（株）、（株）トライアングル、横須賀市が連携して整備。
- ・猿島の情報のほか、日本遺産構成文化財、市内の観光情報を発信。
- ・令和 2 年 7 月 15 日オープン。





#### ④文化財活用観光促進事業費補助

- ・鎌倉時代に仏師として活躍し、現代においても世界中で絶大な人気を誇る運慶の仏像は、国内に 31 体存在するが、そのうち 5 体が本市秋谷の浄楽寺に保存されている。
- ・浄楽寺を中心に、同じく運慶（運慶派含む）の作品を所蔵した市内の寺院と連携して、文化庁「文化財多言語解説整備事業（文化資源活用事業費補助金）」を活用した、多言語解説の取り組みを進めることとした。
- ・観光客の誘致、特にインバウンドの増加を図るため、AR などの先端技術を活用した多言語解説の整備を行う。
- ・また、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」が 2022 年 1 月から放映予定であり、そのゆかりの地として、大河ドラマを活用したプロモーションや関係自治体との連携などを検討する。

##### ア 浄楽寺（芦名）

- ・阿弥陀如来 ・観音菩薩 ・勢至菩薩 ・不動明王立像 ・毘沙門天立像



##### ウ 満昌寺（大矢部）

三浦義明座像



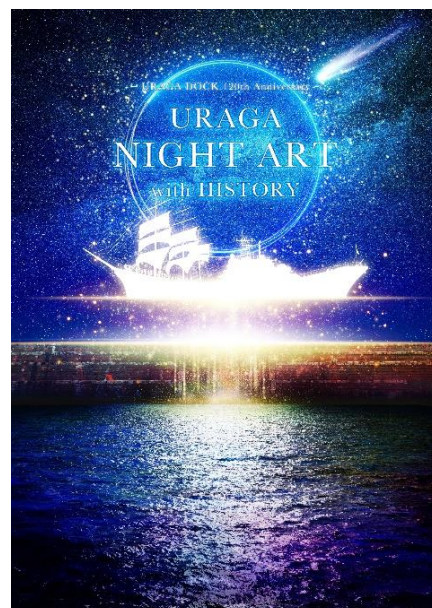
##### イ 満願寺（岩戸）

観世音菩薩立像  
地藏菩薩立像



## ⑤浦賀奉行所開設 300 周年記念イベント

- ・令和2年10月24日（土）、25日（日）に実施予定としていた、浦賀奉行所開設 300 周年記念イベントの開催を中止し、令和3年度（2021年度）に開催する方向で検討する。
- ・多くの来訪者を集客する本記念イベントにおいては、新型コロナウイルスに対する十分な感染防止対策を講じることが難しいため、今年度の開催を中止とした。



- ・令和2年度に想定していた記念イベント（主なもの）

会場・イベント名	内容
<b>【会場】住友重機械工業(株) 旧浦賀工場内</b>	
記念式典	浦賀奉行所の史実を顕彰する式典の開催
郷土芸能披露	記念式典に併せて郷土芸能(虎踊り、木遣り)を披露
日本丸一般公開	浦賀ドックで建設された日本丸を誘致し一般公開
マーチング プレビュー	ペリー上陸時に同行した軍楽隊が日本のマーチングのルーツであることにちなみ、パフォーマンスを実施
ドック一般公開	普段は公開されていない、レンガドックの一般公開
浦賀湾遊覧船	浦賀港において遊覧船を運航(浦賀の歴史ガイド付)
浦賀みなと祭花火	浦賀みなと祭を同日開催し、花火で来場者をもてなす。
プロジェクト マッピング	浦賀の歴史をレンガドックの壁面に、プロジェクトマッピングで表現
<b>【会場】浦賀コミュニティセンター</b>	
浦賀奉行所に 関する特別展示	中島三郎助や当時浦賀で活躍した人物などを紹介する特別展示等
<b>【会場】浦賀奉行所跡地</b>	
奉行所跡地見学 ツアー等	浦賀奉行所の絵図を再現して見学ツアー等を実施

- ・なお、以下の事業は今年度を実施。
  - ① 8mm 映像等を活用した地域映画の制作
  - ② 浦賀文化を背景に、文人画家として活躍した長島雪操の美術館企画展
  - ③ 子ども向け歴史小冊子の制作、出前授業の実施等

### (3) エンターテインメントを活用した取り組み

○猿島など横須賀の地域資源を生かした、「音楽」「アート」「ダンスイベント」の開催。

○アニメ・漫画・ゲーム・クリエイターとのコラボ企画を実施。

横須賀の歴史や自然に、民間事業者と連携したエンターテインメントの要素を絡め、これまで横須賀に興味のなかった方々や、一度も足を運んでいない方々など、新たな客層の獲得を目指す。

#### ①アニメ ONE PIECE × YOKOSUKA × KEIKYU120 周年イベントの開催 (令和元年7月～10月)

- ・作品の世界観と、海と豊かな自然に恵まれた横須賀市のロケーションからくるイメージ、世界観が重なっていることなどから実現。
- ・東映アニメーション（株）、京浜急行電鉄（株）、（株）トライアングル、横須賀市が連携して、人気アニメ「ONE PIECE」と地域のグルメや観光資源をコラボレーションする企画を実施。
- ・猿島や横須賀中央周辺でワンピースにまつわる装飾やスタンプラリーなどを実施したほか、コラボグルメの提供やステッカーの配布などを行い、国内外の幅広い世代のファンにPR。

#### ②オンラインライブ配信による「ヨコスカ街なかミュージック」の発信と 音楽関連事業者の応援

- ・街なかをステージとした音楽ライブを実施しているが、令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、音楽アーティストや音楽関係事業者にも大きな影響が出ており、街なかで音楽を聴く機会も激減している。
- ・そのため、市内のライブ会場、音楽関係事業者への応援と、音楽アーティストの演奏機会の創出を図るため、YouTubeチャンネルによるオンラインライブ配信を行う。
- ・横須賀ゆかりのアーティストが出演するライブ映像や、くりはま花の国やヴェルニー公園など、横須賀ならではの場所での演奏シーンを織り交ぜた音楽映像を配信する。





### ③ myblu presents Good Music Party in Sarushima -10 Summer Days-

- ・平成 30 年度に引き続き、令和元年度もエイベックス・エンタテインメント（株）と連携し、夜の猿島で音楽イベントを開催。
- ・音楽、ディナー、サンセット、夜景、自然が楽しめるロケーションで、普段味わえない至極のバカンスを提供。

○開催結果概要（令和元年度）

<開催日数> 9 日間

<来場者数> 4,500 人



### ④Sense Island～感覚の島～

- ・静寂と暗闇に包まれた日没後の猿島を舞台としたアートプロジェクト。
- ・猿島の非日常な環境とアート作品により、鑑賞者に、現代の都市生活の中で忘れかけている、人間本来の感覚を呼び戻してもらうことが狙い。
- ・来訪者の約 75%が、市外（県外、海外含む）からの来訪だった。

○開催結果概要（令和元年度）

<開催日数>14 日間（荒天中止 4 日間）

<チケット販売数>5,817 枚

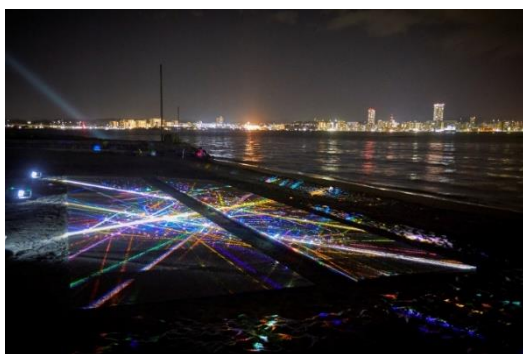


Photo by Naomi Circus @Sense Island 2019



Photo by Naomi Circus @Sense Island 2019

### ⑤サブカルチャーの活用

- ・横須賀にゆかりのあるアニメや漫画、ゲームとのタイアップを実施。
- ・作品内で横須賀の露出を増やすことで、集客に繋げる。
- ・横須賀に来たことがない層へ情報発信を行うことにより、新たな来訪者の獲得を目指す。

## (4) その他の取り組み

### ① ICTを活用した地域活性化事業

- ・横須賀市、NTT東日本、NTT e-Sports が連携し、市の地域活性化を目指した3者連携協定を締結した。
- ・具体的には、新たなスポーツ（都市型スポーツやeスポーツ）の定着によるコミュニティの形成、観光活性化に向けたインフラ整備による観光、周遊の促進、市民の生活利便性の向上と経済の活性化を軸に、連携を推進する。
- ・この取り組みを通じて「音楽・スポーツ・エンターテインメント都市」の発展を推進することで、子どもたちが様々な体験をし、色々なことにチャレンジできる土壌を醸成すると共に、インフラ整備による観光周遊の促進や、施設や公共システムのDX※化など、幅広い施策に取り組んでいく。

※DX…デジタルトランスフォーメーションの略で、「デジタル技術が進化し、人々の生活をより豊かにする」ことを指す



## ②サイクルツーリズムモデル事業

- ・三浦半島の豊かな自然とサイクルスポーツを組み合わせ、新たな観光資源の開発に向けた取り組みを、横須賀市を中心に、三浦市・房総半島との広域連携及び複数企業と連携して展開する。
- ・外国人旅行者や観光客が、e-Bike（スポーツ電動アシスト自転車）を移動手段にエリア内を気軽に移動しながら、自然を使ったアクティビティ、重要文化財、食などを楽しめる宿泊を伴う観光モデルを創出し、将来的には民間事業者の収益のみで観光モデルが成立することを目指す。



## ③横須賀ツーリズムバス事業

- ・新型コロナウイルスの感染の収束を見極めつつ、収束後、横須賀への人の流れと街のにぎわいをいち早く取り戻すことを目的に、団体観光客誘致を図るため、バスツアー造成に対し、助成金を拡大する。
- ・バスツアーを主催または手配する旅行業者に対して助成を行い、横須賀市外から出発した旅行で、市内の指定した駐車場を2か所以上利用し、市内飲食店を1か所以上利用することが条件となる

## ④映像による観光PR事業

- ・新型コロナウイルス感染症収束後に、本市に訪訪したいと思ってもらよう、本市の観光スポットを中心に紹介するプロモーションビデオを制作し、シティセールス・ツアーセールスなどに活用する。
- ・また、メディア等からの要望に応えるため、無料で自由に動画を視聴、利用できる「映像ライブラリ」を、本市の観光情報サイト内に整備する。



## ⑤横須賀ポートマーケットのリニューアルオープンの延期

- ・昨年度、(一財) シティサポートよこすかが新たな運営事業者を公募した結果、いちご株式会社を代表するグループを運営事業者として決定した。
- ・その後、リニューアル準備のため、ポートマーケットは令和元年12月に一旦運営を終了し、令和3年春のリニューアルオープンを目指していた。
- ・しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、「新しい生活様式」にも対応した施設とするため、リニューアルオープンの時期を1年延期し、令和4年春（ゴールデンウィーク前）とした。



## ⑥横須賀港～北九州港 新規フェリー航路開設計画

- ・横須賀市、北九州市及びフェリーを運航するSHKライングループが連携して航路を開設。関東圏と九州圏を海で結ぶ物流と旅客の大動脈が形成。

### 【概要】

＜開設時期＞	令和3年（2021年）
＜運行スケジュール＞	2隻体制、1日1便デیلیー運行（日曜日を除く週6便）
＜乗客定員＞	300人～500人（予定）
＜所要時間＞	20時間30分

## ⑦新規ホテルの建設

- ・市有地の旧三笠駐車場用地（小川町2番13）に新たなホテルを建設中。
- ・ホテル施設整備事業者 … 「株式会社ホテル横須賀」  
1957年より市内で宿泊事業を展開。現在市内に2つのホテルを経営。
- ・事業コンセプト
  - ① 横須賀に新しい宿泊観光客を呼び込む
  - ② 全室スイートルーム仕様
  - ③ 横須賀観光の拠点となるホテル
  - ④ 地域との共存共栄
- ・階数（高さ）…地上14階建て（約45.5m）  
客室数 …155室（ツイン123室、ダブル32室）  
建設期間 …令和2年3月から令和3年10月  
営業開始 …令和3年12月（予定）



## ⑧「西地区海岸周辺における土地利用活性化ビジョン」の策定

- ・「西地区海岸周辺の魅力ある地域資源の活用」を実現するため、市民のみならず来訪者の利便性の向上を目指し、具体的な取り組みを推進することを目的として8月末に策定した。
- ・まちづくりの方針を示した「都市マスタープラン」及び「立地的適正化計画」と、観光振興に関する具体的な取り組みを示した「観光立市アクションプラン」を踏まえて策定。
- ・将来像 … 目の前に広がる海、みどり豊かな自然、穏やかな気候などリゾート的な環境を活かし、地域の資源を味わえ、体験できるまちづくりを進めます。
- ・基本方針…
  - 1 豊かな地域資源の魅力を光らせるまちづくり
  - 2 地域資源を堪能できるしくみづくり
  - 3 地域ブランド力を発信するしかけづくり

